

合格体験記① from 37 回生

進学先：兵庫大学生涯福祉学部こども福祉学科

試験内容：面接

①合格に向けて努力したこと

面接ノートを作り、自分が完璧だと思えるまで面接の練習を頑張りました。生徒会や甲高伝え隊（注：広報活動）などに積極的に取り組み、面接で話す内容を多くつくることができました。

②教育総合類型の勉強で役に立ったこと

ふれあい農園や教育基礎等は大学での学びと同じなので、早めに学べることは役立つと思います。オープンハイスクールで発表したことで、人前で話すことへの緊張がなくなり面接に役立ちました。

③後輩へのメッセージ

これからも夢を追い求め、楽しむことを忘れないでください。

合格体験記② from 37 回生

進学先：神戸元町こども専門学校病児保育コース

試験内容：面接

①合格に向けて努力したこと

類型ノート（注：類型の活動を記録するノート）を見返してこれまでの学習を振り返りました。数多くの質問を予想して何を聞かれても答えられるようにしました。オープンキャンパスに行き、先輩方にどのような質問があったか、注意すべきことを教えてもらいました。

②教育総合類型の勉強で役に立ったこと

実際に子どもと関わって学ぶ中で、反省点を見つけられ、これからの自分の課題を見つけることができました。保育士の仕事を近くで見られるため、専門学校での保育実習の役に立つと思います。

③後輩へのメッセージ

積極的に活動に取り組むと将来役立つと思います。がんばってください！

合格体験記③ from 37 回生

進学先：武庫川女子大学短期大学部幼児教育学科

試験内容：面接

①合格に向けて努力したこと

1年生のときからふれあい農園などの類型の活動に積極的に参加しました。定期考査でも良い点数を取れるように頑張りました。

②教育総合類型の勉強で役に立ったこと

絵本の読み聞かせや手遊び、教育基礎の授業は実際に子どもと接するときにとっても役立ちました。

③後輩へのメッセージ

保育士になりたい人はぜひ類型の活動に積極的に参加してほしいです。苦労もありますが、それ以上に達成感があり成長につながります。子どもたちからありがとうと言われたときはとても嬉しい気持ちになれます。類型での体験は他校ではできないと思うので、積極的に取り組んでほしいです。

祝・教育総合類型11期生卒業

3月2日(水)に、教育総合類型の生徒を含む37回生が旅立ちの日を迎えました。類型の生徒の多くが保育系の専門学校や短期大学への進学が決まっています。類型のさまざまな活動に積極的に取り組み、後輩によい影響を与えてくれました。進学先でも努力を重ね、小学校教諭や幼稚園教諭、保育士になる日を心待ちにしています。



冬のふれあい農園

3月3日(木)の放課後に、ジャガイモを育てるために、本校ふれあい農園を整備しました。ふれあい農園では、毎年ジャガイモやサツマイモを育てて園児を招いて収穫しています。この日は畝を作り、それぞれの畝の中央に溝を作って種イモを置き、肥料をまいて、マルチシートで保護しました。畝作りは大変な力仕事でしたが、どの生徒も楽しみながら取り組んでいました。このジャガイモは、来年度に夙川宝プリスクールの園児たちを招き、一緒に収穫する予定です。



生徒の感想より

- ・少人数でしたが、楽しく作業できて、みんなとの仲も深まりました。足場を整えて子どもたちが安全に取り組めるようにしました。(1年生)
- ・畝をまっすぐにするのが大変で、かなり体力の要る仕事でした。(1年生)

教育総合類型通信 第6号

令和4年2月9日

発行人 県立西宮甲山高等学校
教育総合類型推進委員会

教育総合類型 卒業生講話

1月12日(水)に、教育総合類型の2・3年生が集まり、本校卒業生(教育総合類型2期生)の三宅咲さんを招いて、「保育士のやりがいと保育現場に必要な力について」の講義をしていただきました。講義の中で実施された座談会では、在校生と活発な意見交流が行われ、有意義な時間となりました。三宅さんからは、大学での学び、保育士のやりがい、社会人になるまでにやっておくべきことなど、実体験を踏まえた話をしていただきました。



生徒の感想より

- ・実習の話では、実習自体はたのしいものの、実習日誌に細かくまとめて書く作業は日誌を見せていただいて本当に大変だなと思いました。私も自分の行きたい学校に向けて、今からでもその力をつけられる努力をしようと思いました。(2年生)
- ・給料や、職場の雰囲気や人間関係、幼稚園と保育所の違いなど、実際に勤めている先生のお話を聞くことができ、将来のために役立つ話でした。職場によって様々な決まりがあり、その中で自分に合ったところで働くことが大切だと思いました。(2年生)
- ・話を聞いて、悩むこともあるけれど、保育士という仕事に対して前向きに考える心構えが大切だと思いました。(3年生)

リトミック 卒業制作発表

3年生の選択科目「リトミック」の最後の授業で、卒業制作の発表を行いました。1年生の家庭基礎で制作したエプロンと3年生のリトミックで制作した人形を使ってエプロンシアターの発表を行いました。エプロンシアターとは、エプロンを舞台に人形を動かして劇を上演するものです。この発表では、2分間のストーリーを構成し、一人ずつ上演しました。保育現場で役に立つ技能を身に付ける貴重な機会になったようです。



生徒の感想より

- ・自分が楽しく演じないと子どもたちは楽しめないなので、自分が楽しむことを大切にしました。人形は、太い糸を使って縫い目を生かしたデザインに仕上げ、独自性を出しました。

教育総合類型 合同授業

12月14日、教育総合類型の1～3年生の全員が集まり、これまでの学習の成果を発表しました。1年生は、パプリカのダンス、2年生は、ダンスと手袋シアター「あわてんぼうのサンタクロース」、3年生はフラダンスを披露しました。1年生のパプリカのダンスは、「家庭基礎」の授業や放課後に練習を重ねたものです。2年生のダンス・手袋シアターは、「子どもの発達と保育」の授業内で準備をしてきました。3年生のフラダンスは、「リトミック」の授業にプロの先生に来ていただき、指導を受けてきました。

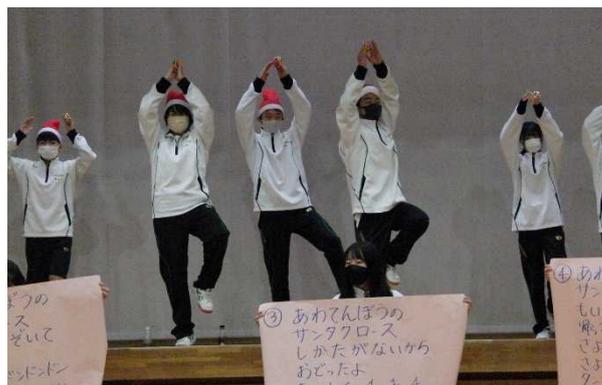


合同授業にあたっては、感染症対策のため、手指消毒を徹底し、適正な身体的距離を確保しました。

← 1年生 パプリカ



↑ 3年生 フラダンス



↑ 2年生 ダンス・手袋シアター

生徒の感想より

- ・2年生は笑顔で踊っていて、すてきでした。3年生は、切れが良くしなやかで、さすがだと思いました。2・3年生のダンスは、自分たちのレベルより高く、よい目標になりました。(1年生・男子)
- ・類型の生徒が集まったのは初めてでした。3年生は団結力があり、2年生は、子ども目線ができていてすごいと思った。上級生のように堂々と披露できるように頑張ります。(1年生・女子)
- ・これまでより協力して取り組みました。1年生は笑顔がすてきで、3年生はさすがと思わせる見事なダンスでした(2年生・男子)
- ・後輩たちは生き生きしていて、それぞれの色が出ていて、類型らしさを感じました。これからも進路に向けて頑張りたいと思いました。(3年生・男子)

36回生からのメッセージ

今年3月に卒業した教育総合類型の卒業生(10期生)に連絡を取り、現在の状況を聴き、後輩たちへのメッセージを送っていただきました(21名から回答を送っていただきました)。協力してくれた卒業生のみなさん、ありがとうございます!

以下、内容を損なわない程度にまとめて掲載しています。

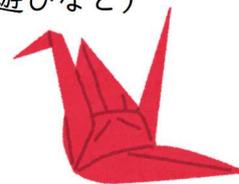


Q1 今、大学や専門学校で学んでいること

- ・ 幼児教育や保育の勉強(幼児理解、年齢別の援助の仕方など)
- ・ 社会福祉の勉強
- ・ 音楽の勉強(ピアノの練習、音楽理論やピアノ以外の器楽)

Q2 甲山高校で学んだこと

- ・ 保育に関する知識・技術(折り紙、ペープサート製作、手遊び、造形遊びなど)
- ・ 子どもとの関わり方(保育インターンシップ)
- ・ 子どもたちの前での発表(シアター、ペープサート)
- ・ 自然の楽しさと危険。子どもたちに自然の良さを知ってもらう取組



Q3 教育総合類型の後輩たちへのメッセージ

- ・ 高校の授業で習ったことは、大学に行ってもとても役に立つことばかりなので、今はしんどいと思うけれど、高校生活を楽しみながら頑張ってください!
- ・ 教育総合類型で学んだことは、大学で必ず役に立ちます。ふれあい農園やインターンシップで子どもと関わり、子どもと関わる仕事に就きたいと思った人は、諦めずにその夢を追い続けて頑張ってください。
- ・ リトミックで制作したペープサートや、教材、折り紙ノート、作った折り紙作品などは残しておくことで大学の課題でも役に立ちます。
- ・ 作品制作や読み聞かせ発表、ピアノの練習などは大変ですが、進学後にとても役に立つので頑張ってください。
- ・ 手遊びや実技で身に付けたことは、大学でも絶対に役立つので、高校から学べて良かったです。
- ・ 類型で事前に保育のことを学んでから進学すると、大学の学びでよいスタートが切れます。頑張ってください。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で行事が減ったり、休校になったりして皆さん大変な思いをされていると思いますが、高校で学んだことや経験したことは全て宝物です。大切にしてください!

高大連携協定

本校は、9月1日（水）付けて甲子園大学・甲子園短期大学と高大連携に関する協定書を交わしました。教育総合類型のプログラムを含め、専門的な分野については、大学の先生方に講義等の協力をしていただきながら進めていくことになりました。

体育大会 教育総合類型プログラム

10月1日（金）に実施された体育大会の中で、夙川宝プリスクールの園児たちを招いて教育総合類型プログラムが行われました。教育総合類型3年生の生徒たちと園児たちが参加しました。園児たちがグラウンドを元気に走る姿を、全校生が応援していました。園児にバトンを渡す際に、姿勢を屈め、走り出す背中に手を添える生徒たちの姿に、優しさを感じました。ゴールでは生徒たちが声援を送りながら出迎えました。

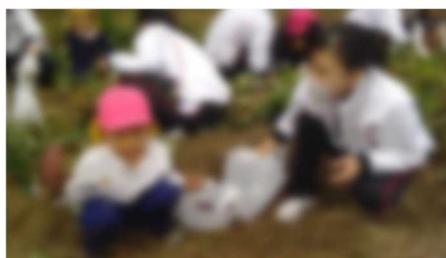


保育技術検定

10月15日（金）に、本校の教育総合類型の1年生が、全国高等学校家庭科保育技術検定（文部科学省後援）を受検しました。1年生にとっては初めての検定への挑戦で、全員が4級に挑戦しました。試験内容は、歌唱、折り紙、読み聞かせ、赤ちゃん人形のお世話の4項目で、いずれも保育士として必要な力を問うものでした。2年生では3級を目指します。

ふれあい農園

10月19日（火）の放課後に、教育総合類型の1～3年生が集まり、夙川宝プリスクールの園児たちを招いてサツマイモ掘りを実施しました。スクールの玄関まで迎えに行き、本校生1人あたり1～2人の園児と組を作り、学校まで一緒に行きました。代表生徒（1年生）からの注意説明のあと、それぞれの組でサツマイモ掘りを進めました。今回、1年生にとっては初めての園児と触れ合う機会となりました。最初はなかなか園児と打ち解けられなかった生徒も、帰りには園児との会話が盛り上がり、成長が見られました。



教育総合類型通信 第2号

令和3年9月1日

発行人 県立西宮甲山高等学校
教育総合類型推進委員会

オープンハイスクール

7月30日（金）に、中学3年生とその保護者の方を対象に、西宮市立夙川公民館でオープンハイスクールを実施しました。この中で、本校の教育総合類型の生徒が活動の内容や成果を発表しました。1年生は保育技術検定への取組の説明、2年生はペープサート「ぶんぶん茶釜」の実演、3年生は保育インターンシップの成果発表と「はらぺこあおむし」の発表を行いました。特色のある授業についての説明では、「手話」を受講している生徒が、手話歌「花は咲く」を発表しました。



保育インターンシップ

8月の夏休みの間に、教育総合類型の2年生が、夙川宝プリスクールで保育インターンシップに取り組みました。3グループに分かれて2日間訪問し、保育の活動や学習に携わりました。子どもたちの年齢に応じて、絵本の読み聞かせや園庭遊び、作物の収穫などに取り組みました。夙川宝プリスクールの職員の方から、保育の仕事についてのお話をしていただき、保育士を目指す自覚を深める機会となりました。



インターンシップを終えた生徒たちは、2学期の成果発表に向けて、振り返りと資料作りに取り組んでいます。高大連携の一環として、大阪大学の教員志望の学生に来ていただき、資料作成の補助をしてもらいました。年齢の近い「お兄さん・お姉さん」の目線でアドバイスしてもらい、振り返り活動を深めていました。なお、活動に際し、体温の管理、手指消毒やマスクの常時着用等の感染対策を徹底しました。



保育技術検定

本校の教育総合類型の生徒は、全国高等学校家庭科保育技術検定（文部科学省後援）を受験しています。今年度は、5月下旬～6月上旬にかけて教育総合類型の2・3年生が挑戦しました。受験する級によって内容は異なりますが、だっこや衣類の着脱等の乳幼児の世話、折り紙、紙芝居、ピアノ演奏、独唱などの実技試験が課されています。中間考査の勉強の合間をぬって多くの生徒が放課後居残り、実技試験対策をしていました。試験科目は、いずれも保育士として必要となる能力を試すものとなっており、将来に向けての自覚を深めるよい機会になったようです。

春のふれあい農園



5月28日と31日に、類型の1～3年生が集まり、本校敷地内の「ふれあい農園」の整備をしました。夏ごろに、この農園に保育園の子どもたちを招いてイモ掘りをします。そのための準備として、5月28日に雑草抜き（写真左）と耕起（写真中央）、31日に苗植え（写真右）をしました。各学年混合の4チームに分かれ、一面に広まった雑草をすべて手で抜く作業から始まりました。

最初は虫に驚いていた生徒たちも、後半は慣れて、学年を超えた交流が深まりました。上級生は1年前にも取り組んでおり、下級生にやり方やコツを教えることを通して、類型の縦のつながりが育まれる機会になりました。



生徒の感想より

- 作業をしながら類型の先輩たちと話ができて楽しかったです（1年生）。
- 園児を招く次回のふれあい農園では、楽しむだけでなく、子どもたちの安全に気を付けながら頑張りたいと思います（1年生）。
- 1年生が入ってきてうまく伝えられないこともあり、自分からもっとアドバイスできるようになってきたいと思った（2年生）。
- 1年生と仲良くなれる機会になりました。ふれあい農園は達成感があり、コミュニケーション力も身に付くと思うので、これからも積極的に取り組んでほしいです（3年生）。